学校番号	305

令和三年度　国語科

教科	国語	科目	現代文Ｂ（普通科）	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「精選現代文Ｂ」（東京書籍）（第３学年では第二章を扱う）						
副教材等	「トータルサポート新国語便覧」（大修館書店） 「駿台受験シリーズ　現代文読解基礎ドリル」（駿台文庫） 「新版二訂みるみる実力アップ現代文３」（第一学習社） 「意味から学ぶ頻出漢字 3000」（第一学習社） 「イラストとネットワーキングで覚える現代文単語　げんたん　改訂版」（いいずな書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

３年次の「現代文Ｂ」では２年次に引き続き、言葉を通して現実を見つめることで、主体的に考え、伝え合う力を養うことを主眼としています。これからの社会で生き抜くために、近・現代における自己と社会の関係やさまざまな問題を認識し、その解決に必要な読解力・思考力を身につけ、自分の言葉で課題解決を表現できるよう努めましょう。また、適切な語彙力と適切な表現力を養うことで、他者を受け止め、対応できる力を身につけましょう。受身ではなく、自ら学ぶ姿勢を持って授業に参加することを心がけてください。

2　学習の到達目標

・論理的な文章について、論理の展開、要旨を理解することができる。
・文学的な文章について、人物、背景、情景、心情を的確に捉えることができる。
・授業を通じて、語彙力を豊かにし、様々な表現上の特徴を知り、読解力を身につけ、自己の考えを表現できる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e：知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現により文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。
評価方法	・行動の観察 ・記述の確認（ワークシート等）	・行動の観察 ・発表時のあり方の評価	・記述のための分析 ・記述の確認（ワークシート等）	・行動の観察 ・記述の確認（ワークシート等）	・行動の観察 ・記述の確認（ノート、ワークシート等） ・定期考査 ・小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期 4 5	小説の内容の理解Ⅰ	・「藤野先生」 (魯迅/竹内好訳)	○		○	◎	○	a:作者について興味を持って作品を読もうとしている。 c:文章を読んで感じたことを適切に相手に伝えることができる。 d:人物・情景・心情など、展開の過程での変化を理解する。 e:小説に書かれた時代や状況、人物の心情を理解している。	a:行動の観察 c:記述の確認 d:行動の分析 記述の確認 e:記述の点検 小テスト 定期考査
6	評論の内容の理解Ⅰ	・「社会の壊れるとき―知性的であるとはどういうことか」 (鷲田清一)	○			◎	○	a:語句や表現に注意して文脈を捉え、文章を読み取ろうとしている。 d:筆者の考えを把握しながら文章を読み取っている。 e:読むことに必要な文章の組み立て、語句の意味、語句の用法、表記の仕方について理解している。	a:行動の観察 d:行動の分析 記述の確認 e:記述の点検 小テスト 定期考査
7 8 9	評論・小説の内容の理解Ⅱ	・「文学の未来」(小野正嗣)	○			◎	○	a:語句や表現に注意して文脈を捉え、文章を読み取ろうとしている。 d:筆者の考えを把握しながら文章を読み取っている。 e:読むことに必要な文章の組み立て、語句の意味、語句の用法、表記の仕方について理解している。	a:行動の観察 d:行動の分析 記述の確認 e:記述の点検 小テスト 定期考査
		・「スペインタイルの家」 (木内昇)	○		○	◎	○	a:書き手の意図や人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わおうとしている。 c:文章を読んで感じたことを適切に相手に伝えることができる。 d:登場人物の行動について心理を読み取っている。 e:小説の時代背景や人物の心情を理解している。	a:行動の観察 c:記述の確認 d:行動の分析 記述の確認 e:記述の点検 小テスト 定期考査

後期 10 11 12 1	評論の内容の理解Ⅲ	・「鏡の中の現代社会」 （見田宗介）	○	○		◎	○	a:評論を読むことで、ものの見方や考え方を広げようとしている。 b:筆者の主張に沿って、人間が獲得、また喪失したものについて考え、発表している。 d:文章の組み立てに注意しながら筆者の思考の筋道を読み取っている。 e:段落相互の働きについて理解を深めている。	a:行動の観察 b:行動の観察 d:行動の分析 記述の確認 e:記述の点検 小テスト 定期考査
	評論の内容の理解Ⅳ・Ⅴ	・「他者の声　実在の声」 （野矢茂樹）	○			◎	○	a:視野を広げ、思考を深めながら文章を読もうとしている。 d:個々の段落の働きを確かめながら文章を読んでいる。 e:文章の組み立てを読解する方法を身につけている。	a:行動の観察 d:行動の分析 記述の確認 e:記述の点検 小テスト 定期考査
		・「サッカーにおける『資本主義の精神』」（大澤真幸）	○			◎	○	a:結論の導き方に注意しながら文章を読もうとしている。 d:個々の段落の働きを確かめながら文章を読んでいる。 e:具体例・説明・補足・反証などの文章構成について理解を深めている。	a:行動の観察 d:行動の分析 記述の確認 e:記述の点検 小テスト 定期考査

※　表中の観点について

a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力　　c:書く能力　　d:読む能力　　e：知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。